

# 季節を感じ伝統をつなぐ いちかわの年中行事

昔から新年を迎えると、その年の作物の豊作や家族の健康などを願ってさまざまな行事が行われてきました。市内で行われてきた年中行事は、農業にまつわるもの、川や水辺にまつわるもの、信仰と係わるものなど、地域の

人々の暮らしと密接に関わっていました。今回は新春に行われる「国府台辻切り」と「御奉謝」など、都市化した今も市内で行われている年中行事と、伝統を次世代へつなげる活動を紹介합니다。 ☎712-8632広報広聴課

## 新春

市指定無形民俗文化財 国府台辻切り 1月17日

ワラを編んで2メートルほどの大蛇を作り、地区の四隅の木に結びつけます。かつて村の出入口にあたる四隅の辻(十字路)に大蛇を設置し、悪霊などを断ち切ったことから、この名が付けました。大蛇が悪霊や病気を追い払い、その地区を1年間守ってくれると言われていました。国府台では大蛇を4体作りますが、堀之内では1体作り、歴史博物館に収められます。

☎1月17日(水)午前9時～午後10時30分  
場 国府台天満宮(国府台3-11-11)  
☎090-1848-9532国府台辻切り保存会(石井)



1 大蛇の目の中には、昨年の大蛇を燃やした灰を入れます  
2 ピワの葉で耳を付け、お神酒を飲ませて魂を入れます  
3 国府台の4カ所の木の上に結び付けます

辻切りの行事は27歳のときから42年間携わっています。この行事は、昔は国府台天満宮の氏子の農家たちが担い手でした。担い手が高齢化する中で、辻切りの伝統を守り、地域の人が参加しやすくするため、今では消防団の若手の方にも協力してもらっています。



▲国府台辻切り保存会 石井 孝樹さん

辻切り当日は、小学生も見学に来ます。その子たちが伝統行事を知って地域に興味を持ち、この地域に住んでいてよかったという郷土愛につながればと思っています。

4 しめ縄の中で「三白の餅つき」をします。1回目と2回目についた餅が供物に、3回目の餅が「餅ぶつけ」に使われます  
5 「餅ぶつけ」には厄払いの意味もあり、この餅に当たると縁起がいい、持ち帰って食べると風邪をひかない、などといわれています  
6 笑ってしまうもう一杯飲みます



市指定無形民俗文化財 御奉謝 1月20日

駒形大神社の御奉謝は、杯に酒をなみなみと注ぎ、氏子が相方とにらみ合い、杯を同時に飲み干します。このとき、笑ったり無礼な態度をとったりしたときは、両者がさらに酒を飲むことになります。周りも笑わせようとはやし立て、にぎやかに進む行事です。市内では駒形大神社で行われる御奉謝が有名ですが、原木、大野迎米、宮久保など市内各所におびしゃという行事が残っています。

☎1月20日(土)午前9時～午後3時  
場 駒形大神社(大野町4-2757)  
☎337-8901(中村)

### 市内の「おびしゃ」について知りたい

市川市史編さん事業調査報告書「市川のおビシャとおビシャ文書」(300円)にまとまっています。  
☎300-8020文化振興課

### 「おびしゃ」を見たい

「ボランティアガイド市川案内の会」によるウォーキングコース JR市川大野駅改札周辺集合→駒形大神社(おびしゃ見学)→禮林寺→JR市川大野駅解散  
☎1月20日(土)午後0時45分～3時30分(小雨決行)  
☎324-7751 ボランティアガイド市川案内の会(いちかわ観光・物産案内所内)

(観光交流推進課)

## 春

初卯祭 2月 葛飾八幡宮(八幡4丁目)

2月の立春を過ぎた最初の「卯」の日に行われます。

湯の花祭り(湯花神事) 2月20日 白幡天神社(菅野1丁目)

「初卯祭」「湯の花祭り」はともに、大釜に煮えたぎらせた熱湯を、熊笹の束で参詣者にふりかけ、一年間の無病息災を願う行事です。

団子あげ 2月26日 子之神社(北方3丁目)

白団子をつけた梅の枝を奉納し、豊作と無病息災を祈ります。

端午の節句 菖蒲葺き 5月

端午の節句の前夜に菖蒲とヨモギを束にして屋根に並べ、家内安全を祈願します。かつて市内で行われていて、今では見られなくなっていたものを、白幡天神社で復活させ、近隣の小学校が体験しに来ます。



## 夏

水神祭り

6月 湊水神宮(湊)

7月 根本水神宮(市川4丁目)

根本水神宮の水神祭りは、もともとは船頭の安全を祈願したお祭りです。以前は子どもが水の事故に遭わないよう、きゅうりに子どもの名前を書いて川に流し、カップに供えていました。

行徳 山開き 7月1日 稲荷神社(押切)

稲荷神社(押切)境内に富士塚があります。その昔、富士山の噴火で出た溶岩を運んで積み上げたと言われています。本家の富士山の山開きと同じ7月1日に、この富士塚でも山開きを行います。



灯籠流し

7月第3土曜日 真間川(手児奈橋付近)



1 神主を招いて祈禱を行います  
2 色とりどりの灯籠が真間川に浮かびます  
3 手児奈霊神堂の境内で行われるほおずき市は、夏の風物詩となっています

ほおずき市

7月第3土・日曜日 手児奈霊神堂(真間4丁目)



## 秋

この時期、市内の多くの神社で例大祭が行われます。

秋祭り 10月

●行徳五ヶ町例大祭 (3年ごと 次回は2020年)

本行徳1~4丁目と本塩の5つの町会で神輿の渡御が行われます。約500キログラムもある神輿を24人で担ぎます。

●香取神社例大祭(行徳四ヶ村) (3年ごと 次回は2019年)

欠真間・香取・湊新田・湊の四ヶ村で行われます。

●春日神社(市川3丁目)

市指定有形民俗文化財の武内宿禰山車人形が披露されます。

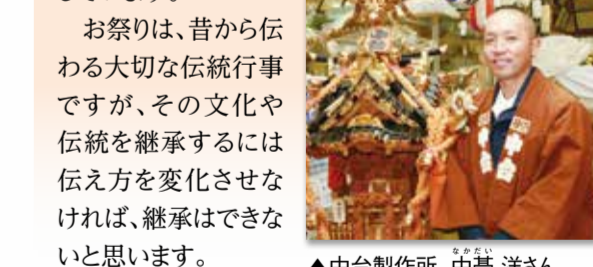
●上妙典八幡神社(妙典1丁目)

千貫神輿ともいわれる、大きくて重い神輿を担いで行われます。

◀行徳の神輿の担ぎ方(もみ方)には、地すり、さし、ほうり受けというのがあります



行徳にはかつて後藤神輿、浅子神輿という神輿店がありましたが、今でも神輿を作っているのは、うちだけになってしまいました。行徳で神輿作りを続け、市外や国外にも知ってもらうことにより、行徳、ひいては市川を盛り立てていければと思います、そこに向かっていろいろと活動しています。



▲中台製作所 中臺 洋さん

昔のくらしを見てみよう

歴史博物館 企画展 「発見 体験 昔のくらし」

主に昭和の衣食住にかかわる道具の移り変わりや市内の年中行事を紹介しています。

☎2月18日(日)まで  
場 歴史博物館  
☎373-6351同館



酉の市

11月酉の日 法華経寺(中山2丁目)

福を招き、商売繁盛を願って熊手を飾ります

## 冬